



各位

2022年11月8日

会社名 三菱製鋼株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 山口 淳
 (コード番号 5632 東証プライム市場)
 問合せ先 執行役員経理部長 柳 沼 康一
 (TEL. 03-3536-3135)

第2四半期連結業績予想と実績との差異及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日付で公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80,000	500	△ 200	200	13.01
実績値(B)	82,333	1,700	1,713	1,356	88.34
増減額(B-A)	2,333	1,200	1,913	1,156	
増減率(%)	2.9	240.1	-	578.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	65,922	2,736	2,348	2,302	149.71

(2) 2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)通期業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	170,000	4,500	3,100	2,700	175.70
今回修正予想(B)	180,000	5,500	4,500	2,700	175.83
増減額(B-A)	10,000	1,000	1,400	0	
増減率(%)	5.9	22.2	45.2	0.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	146,292	6,270	5,780	4,068	264.78

2. 差異及び修正の理由等

(1) 第2四半期連結業績予想と実績との差異について

売上高は、概ね当初の予想通りとなりました。

営業利益は、ばね事業における北米子会社の生産混乱の影響等により損失が拡大したものの、特殊鋼鋼材事業における価格高騰前の原材料在庫の使用等により、当初の予想を上回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加及び円安に伴う外貨建て資産の為替評価益により、当初の予想を上回りました。

(2) 通期連結業績予想の修正について

売上高は、原材料・エネルギー価格の高騰及び円安の急速な進行に伴う輸入原材料価格の上昇に対する価格転嫁に加え、円安による換算金額増加の影響を見込んでおり、当初の予想を上回る見込みです。

営業利益は、上期の損益改善等を受け、当初の予想を上回る見通しです。

経常利益は、営業利益の増加及び円安に伴う外貨建て資産の為替評価益により、当初の予想を上回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加があるものの、以下のとおり、特別利益として見込んでいた保険金収入の見込額の見直し及び税金費用の増加を見込んでおり、当初の予想から修正はありません。

(保険金収入に伴う特別利益計上額の見直しについて)

昨年6月に発生しました、当社のばね製造子会社MSSC Ahle GmbHにおける火災損失に対する保険金収入は、当初火災による損失額が概ね補償されると想定しておりましたが、保険会社と事業損失の見積り方法に関する見解の相違が判明し、現在、未入金 of 保険金の一部について、未回収となるリスクが生じています。当社としましては、今後も協議を継続してまいります。交渉の先行きが不透明であり、当期中の決着が難しくなったことから、当期の保険金収入による特別利益の見込み額を変更します。

(当期における保険金収入見込額 当初見込額 15億円、今回見込額 9億円)

(注)上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上